

1月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

72,713円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	16,380円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	12,128円
通信費(携帯電話代、折込代、郵送代)	44,205円
支出計 12/1/10~12/1/31	72,713円

寄付 Yさん、オザキさん 15,000円

市政を考える

月刊武松

発行日
12/2/1

第125号

16500部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)

武松政策研究会

救急取扱状況の推移!?

高齢者の救急搬送が5割を越える！

■救急搬送件数は横ばい

救急出場件数は、2002年以降、年間250～300件の増加でしたが、2006年以降、増減はあるものの傾向としては横ばいとなっています。

2006年に飲酒運転に対する厳罰化が始まって以降、交通事故による搬送件数は、1315件(2005年)から944件(2010年)と28.2%も減少しました。

しかし、2009年以降は再び200～250件の増加となっています。

■軽症の搬送件数は横ばい(図1)

一時期は、軽症者の利用やタクシー代わりの利用などが搬送件数の増大要因といわれていましたが、正しい利用PR等により横ばいとなっており、一定の効果があったものと思います。

図1 救急取扱状況の推移

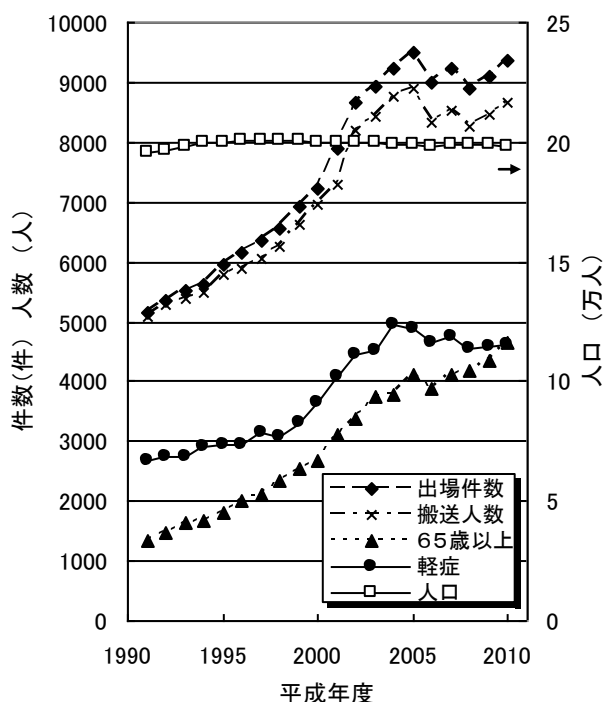
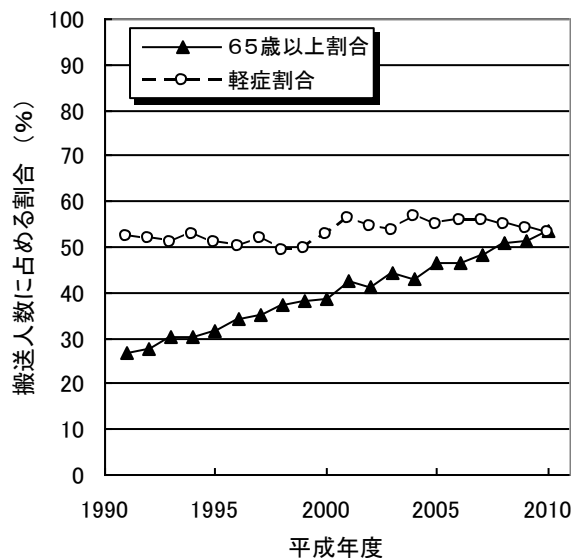


図2 救急搬送人数に占める高齢者割合及び軽症割合の推移



■高齢者の搬送割合が5割を増える(図2)

構成率で見ると、軽症は以前から50%付近で横ばいですが、65歳以上の割合は、1991年では26.6%だったものが、2010年では、53.7%を占め倍増しています。そして依然として増加傾向にあります。

■引き続き救急車の正しい利用を！

消防本部では、5台の救急車しかありませんので、最寄りの消防署に救急車があるとは限りません。

2010年の場合、救急車出場は、1日当たり25.6件、1台当たり5.1回となっています。

一回の出動で、戻るまでに最低でも40分は必要と言われていますので、軽症の搬送が増えると、本当に救急車が必要な重症の搬送が遅れる可能性があります。

軽症の搬送が増える要因は、高齢化、核家族化、バス等の減便等による交通手段の確保困難、モラルの低下等が考えられますが、市民の正しい利用が、いざという時に機能する救急車になります。

防災メール&情報サービス

おだわらメールマガジンに「防災メール」があります。このメールマガジンに登録すると災害時や行方不明者などが出たときに放送する「防災行政無線」の内容をメールで読むことができます。

■パソコンのホームページから

パソコンから、インターネットメールや携帯電話へのメールマガジンの設定ができます。

<https://www.city.odawara.kanagawa.jp/mmz/>

■携帯メールから（初めての登録）

次のアドレスに空メールを送付ください。登録用のメールが返送されますので、防災メールマガジンにチェックマークをいれ登録してください。



email@mmz.city.odawara.kanagawa.jp

市からのメールマガジンが、迷惑メールと判断され、受信できないことがあります。

登録時の仮登録メールが届かない場合やメールマガジン本文が届かない場合は、以下の受信を許可してください。

- email@mmz.city.odawara.kanagawa.jpからの配信
- @mmz.city.odawara.kanagawa.jpドメインからの配信

設定の方法は各プロバイダ・携帯会社によって異なりますので、詳しくは各社のホームページをご覧ください。問い合わせ窓口にお問い合わせください。

消防車等のサイレンが鳴っている時

■災害情報テレホンサービス

市内の火災などの災害情報を電話で確認

0180-99-4949

■災害情報案内サービス

市内の火災などの災害情報をインターネットで確認

<http://www8.ocn.ne.jp/~odawara/saigai/>

The Voice これまでに頂いたご意見から

月刊武松124号雑感 中町 70代 男性

1. ヒルトン売却の件

特に投資回収を明確に出して頂き参考になりました。ありがとうございます。

私感：将来市が所有していると、無用の長物（現地下街と同様になる）になり大きなお荷物になる。貴兄が“まとめ”てられる様、早期の処理がベターと思います。

2. その他

1月26日に県市議有志が、防災がテーマの対話集会が開かれるそうですね。従来無かったことで非常に期待しております。また、最近の市議会は改革に前向きな姿勢が感じられます。市の発展に市民と一緒に頑張ってください。

ヒルトンへの売却の件。その後、あまり進展していないようですが、市長選を5月に控えたことを考えると早期の売却は難しいかもしれません。基本的には、早期の処理を目指します。

1月26日の対話集会には、50名以上の市民の参加があり、ありがとうございました。進行に多少改善の余地がありましたが、改善をし、また次回のテーマ等明らかになりましたら改めて連絡いたします。

武松政策研究会からのお知らせ

3月の月刊武松の発行と配布は都合により中止します。

2月の勉強会は

日 時：2/25（土）18時～20時 場 所：市民会館6階 第一多目的室

テーマ：「地下街施設&まちづくり会社の現状について」

参加費：100円 終了後、実費で懇親会を行います。

i-mode HP →



HPは、**YAHOO!**で「たけまつただし」 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ

さがみ信用金庫 大井町支店出張所 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

月刊武松は**本人が配布**しているため、行き届かないところがありますが、読み終わりましたら知合いの方にお渡しいただくと幸いです。また、**eメールでも送付していますので連絡下さい。**